

【別表】明治40年5月22日～26日の皇太子嘉仁親王山陰行啓に伴う行動履歴

(『皇太子殿下島根県行啓日誌』より作成。斜線は「山陰新聞」、『山陰道行啓録』より)

<p>五月二十二日 曇後晴 午前八時安来御旅館 御出門 午前八時四十分能義郡荒島村御小憩所(荒島村尋常小学校)ニ 着御 午前八時五十分同行 御出門 午前九時二十五分八束郡揖屋村御小憩所(揖屋村尋常高等小学校)へ 着御 午前九時五十分同行 御出門 午前十時三十五分同郡津田村尋常小学校々庭ニ於テ 御駐車ノ俣 御小憩 午前十時四十分同校 御発車 午前十一時五十分 松江御旅館へ 御着 午後 御休養</p>
<p>五月二十三日 晴 午前九時松江御旅館 御出門島根県庁へ 行啓ヲセラル御函簿列次等左ノ如シ 【御函簿】 御正門内奉拝者百五十一名 御正門外奉拝者三百九十七名ニ奉拝ヲ賜ヒツ御発車ヲセラル</p> <p>(5月23日付「山陰新聞」・・・特に奉拝を賜ふもの 本日松江城山御旅館御出門外に於て特別奉拝を賜ふ者左の如 一、緑綬 藍褒章を有するもの 二、赤十字社特別社員 三、奉迎準備に関する重なる委員 四、御旅館所在地の魔兵 五、愛国婦人 会の有功章を有する者 六、紅綬褒章を有する者 七、孝子節婦議僕にして行賞せられし者 八、文省部より教育功績状を受 けたる者 九、本県より教育褒章を受けたる者 十、実業篤志者にして共進会等に於て功労賞を受け又は本県より功労を表彰 せられたる者 十一、戦病死者の遺族 特別奉拝者心得 特別奉拝を賜はるべき人々は本日午前九時城山御旅館御出門の 際正門外において奉拝賜はるることに決定したるにより午前八時までに必ず参集すへしと)</p> <p>(5月24日付「山陰新聞」・・・特別奉拝者 昨日午前九時松江城御旅館御出門の際正門内に於て特別奉拝を賜はりたるものは 藍綬褒章受領者以下総員百五十一名、正門外に於て同じく奉拝を賜はりたるもの総員四百四十八名なりし) (『山陰道行啓録』・・・廿三日正門内に於て特別奉拝を賜りたるもの 緑綬章を有するもの 重なる奉迎送委員 赤十字特 別社員 魔兵 計百五拾名)</p> <p>午前九時十分島根県庁へ 着御 午前九時二十五分 御出門 午前九時四十分師範学校へ 着御 午前十時三十分同行 御出門 午前十時四十五分 還御</p> <p>(5月24日付「山陰新聞」・・・昨日午後一時半松江中学校へ行啓前において殿町大野写真師を招き御馬車並に乗騎馬兵御旅館 の撮影ありたり)</p> <p>午後二時御旅館 御出門県立松江中学校へ 午後二時四十五分同校 御出門 午後二時五十分県立松江高等女学校へ 着御 午後三時三十分 還御 ・御陪食 午後七時ヨリ御旅館ニ於テ左記ノ者へ 御陪食仰付ル 中山東宮大夫 木戸東宮侍従長 桂東宮主事 松永知事 藤本 第一部長 本間第二部長 堀田第四部長 松平伯爵代理松平子爵 千家出雲大社宮司</p>
<p>五月二十四日 晴 午前九時松江御旅館 御出門県立農林学校へ 午前十時二十五分同校 御出門 午前十一時十五分御往路ノ通御通過 還御 午後二時松江御旅館 御出門県立商業学校へ 午後二時十分同校へ 御着 午後二時四十分同校 御出門 午後二時五十分島根県物産陳列所へ 着御 午後三時十分藤本第一部長御先導申上ケ物産陳列所東入口ヨリ御庭伝ヘテ師範学校附属小学校へ 行啓 午後三時二十五分同校 御出門 午後三時三十分 還御 ・遊戯御覧 ・福岡市長頌徳表 ・立食 午後六時三十分左記ノ人々ヲ立食ニ召サレル 東隠岐島司 小笠原技師 古川八束郡長 須藤能義郡長 保田警視 福岡 松江市長 中島第五憲兵隊長 中村浜田憲兵分隊長 竹原県議会議長 山根県議会副議長</p>
<p>五月二十六日 午前曇 午後晴 午前九時松江御旅館御出門ヲセラル福岡松江市長御車寄ニ御先導ヲ奉送 午前九時三十分郡市界 御通過</p>